

2001年3月8日  
主催(財)水野スポーツ振興会

## 「2000年度ミズノスポーツライター賞」受賞者決定

財団法人 水野スポーツ振興会(会長:水野正人 ミズノ社長)では、'90年度より「ミズノ スポーツライター賞」を制定し、スポーツに関する報道・評論およびノンフィクション等を対象として、優秀な作品とその著者を顕彰しています。

本日(3月8日)、高輪プリンスホテルで2000年度 受賞者選考委員会を開き、受賞作品および受賞者を決定いたしました。

受賞作品および受賞者は以下の通りです。

### 【ミズノ スポーツライター賞 最優秀賞】(トロフィー、副賞 賞金100万円)

- ・『モンゴル野球青春記』 関根 淳 氏(太田出版)

### 【ミズノ スポーツライター賞 優秀賞】(トロフィー、副賞 賞金各50万円)

- ・『サッカー監督という仕事』 湯浅 健二 氏(新潮社)
- ・『アマススポーツNOW』 中国新聞社/編集局運動グループ

詳細は別記の通りです。

(お問合せ先)

(財)水野スポーツ振興会 事務局	内橋	TEL. 03(3233)7009
ミズノ広報室	小西・高橋	TEL. 03(3233)7037
ミズノ大阪広報室	沢井・薬師寺	TEL. 06(6614)8373

## 記

名 称：2000年度 ミズノ スポーツライター賞

制 定 目 的：スポーツに関する優秀な作品とその著者（個人またはグループ）を顕彰してスポーツ文化の発展とスポーツ界の飛躍を期待するとともに、これからの若手スポーツライターの励みになる事を願い制定

選 考 対 象：主として新聞・雑誌・単行本などを通じて書かれたスポーツ分野の報道・評論・ノンフィクション等で、当該年度に発表されたもの

選 考 委 員：委員長 岡崎 満義 氏（元文藝春秋社取締役、「ナンバー」初代編集長）

委 員 田 英夫 氏（参議院議員、元共同通信社 社会・文化部長）

〃 廣 堅太郎氏（元日本体育協会 広報専門委員会委員長）

〃 松本 千代栄氏（社団法人 日本女子体育連盟会長）

〃 村上 龍 氏（作家）

〃 水野 正人 氏（財団法人 水野スポーツ振興会会長、ミズノ社長）

※50音順

対 象 者：日本人および日本在住の外国人

受賞者及び選考理由：

### ●『モンゴル野球青春記』 関根 淳 （太田出版）

本書は、モンゴルの子どもたちに野球を教えることを目的に留学した一青年のモンゴルでの4年間の日々を綴った文字どおりの青春記である。

著者とモンゴルの若者たちとの等身大の異文化交流がほのぼとした情感とともに会話から伝わってくる。

著者は社会、文化の違いに相当に苦しむが、軽妙な文章はその深刻さを感じさせず、臆することなく外国へ飛び出し、現地で活躍する現代日本人青年の心地よい若さのバイタリティを印象づけている。一人の青年の成長していく姿が爽やかな読後感を残す作品。

### ●『サッカー監督という仕事』 湯浅健二 （新潮社）

本書はプロのコーチの視点からサッカー監督のあり方を追求したユニークな監督論である。

著者はドイツでサッカー指導者資格を取得するため武者修行し公認サッカー指導者資格A級ライセンスを取得、その後読売サッカークラブなどでコーチとして活躍してきた。その体験に基づき、著者は「優れたパーソナリティこそ良い監督の最大の条件」と主張する。客観的な視点でサッカーという競技の独自性を淡々と解説する著者の語り、読者のサッカーに対する理解をより深め視野を広げるものであることは確かである。

さらに本書は、スポーツの世界に限らずさまざまな組織のリーダーに必要な条件を改めて考えさせるものともなっており、一般読者もきちんと視野に入れた指導者論を展開した好著である。

●『アマススポーツ NOW』 中国新聞社／編集局運動グループ

昨年「広島東洋カープ 50 年」の連載で受賞した中国新聞は、プロ編に続くアマチュアスポーツ編に挑み、学校、企業、地域の3編構成で、2回の特集を含んで計87回に及ぶ連載に取り組んだ。内容は周到な取材、目配りの利いた資料を集めて、身の回りのスポーツの危機を浮かび上がらせ、これからの方向を模索して十分読み応えのある力作である。

連載の半分は学校スポーツに当てられている。少子化がすすみ、教員も減少、厳しい練習を嫌う傾向も相まって今や学校の運動部は青息吐息の状況にあることが改めて思い知らされる。企業のスポーツも存亡の危機にある。長い不況の圧力の下、運動部から撤退する企業が相次いでいる事情は中国地方も変わらない。地域編では文部省が提起している「総合型地域スポーツクラブ」の試みを中国地方の各地に追っている。

ここで取り上げられている問題はいずれも一地方にとどまらず、日本のスポーツ状況全体に関わるものである。地方紙の取り組みとして出色であるばかりか、スポーツを考える全国の人々に見逃せない問題提起となっている。

(以上)

<参考資料>「ミズノ スポーツライター賞」過去の受賞作品

●第1回( '90年度)

- |                |                           |
|----------------|---------------------------|
| 「ヒマラヤを駆け抜けた男」  | 佐瀬 稔 氏(発行:東京新聞出版局)        |
| 「衝撃」           | 山本 茂 氏/長谷川 公之 氏(発行:テレビ朝日) |
| 「アジアスポーツの新しい風」 | 毎日新聞社 東京本社運動部(掲載:毎日新聞朝刊)  |
| 「たうんステージ」      | 京都新聞社運動部(掲載:京都新聞夕刊)       |

●第2回( '91年度)

- |                        |                                  |
|------------------------|----------------------------------|
| 「スポーツ山脈」および「われら熱中派」    | 信濃毎日新聞社編集委員 鷹野 春彦 氏 掲載:信濃毎日新聞朝刊) |
| 「メディアの群像」              | 橋本 一夫 氏 掲載:大修館書店刊「月刊体育科教育」)      |
| 「帰らざる季節…中島 悟 F1五年目の真実」 | 吉井 妙子 氏(発行:文藝春秋)                 |
| 「父の背番号は16だった」          | 川上 貴光 氏(発行:朝日新聞社)                |
| 「タイガー・モリと呼ばれた男」        | 早瀬利之氏(スキージャーナル社)                 |

【特別賞】

川本信正氏(スポーツ評論家)

60余年にわたり第一線のスポーツ評論家として活動。平和運動家としてのオリンピックの啓蒙に努めている。

●第3回( '92年度)

- 「バルセロナ五輪」連載企画報道 毎日新聞社 五輪取材チーム(掲載:毎日新聞朝刊)  
「DAY'S」五輪コラム 日刊スポーツ新聞社 後藤 新弥 氏(掲載:日刊スポーツ)  
「ニュースの目」 共同通信社 浅田 修司 氏 発行:大修館書店刊「月刊体育科教育」  
「スポーツウィークリー」 秋田魁新報社 社会部(掲載:秋田魁新報夕刊)  
「リングサイド・マザー」 松永 喜久 氏(発行:河出書房新社)

●第4回( '93年度)

- 「もうひとつの風景」連載企画報道 東京新聞社 佐藤 次郎 氏 (掲載:東京新聞)  
「スポーツすぺしゃる&たうんガイド」連載企画報道 北海道新聞社運動部・社会部  
(掲載:北海道新聞夕刊)  
「ビバ!サッカー」 牛木 素吉郎 氏  
(掲載:ベースボールマガジン社刊「サッカーマガジン」)  
「野球とクジラ」 佐山 和夫 氏(発行:河出書房新社)  
「女たちのプレーボール」 桑原 稲敏 氏(発行:風人社)

●第5回( '94年度)

- 「広島アジア大会」連載企画報道 共同通信社 広島アジア大会取材班  
「SPORTS にいがた」連載企画報道 新潟日報社報道部・スポーツ担当  
(掲載:新潟日報夕刊)  
「ウォッチング<スポーツの広場>」連載企画報道  
谷口 源太郎 氏(掲載:東京新聞夕刊)  
「リターンマッチ」 後藤 正治 氏(発行:文藝春秋)

●第6回( '95年度)

- 「世界体操鯖江大会」報道・連載 福井新聞社 編集局世界体操取材班  
「すぽーつ・あ・い 〜ブラウン管からみたスポーツ〜」 杉山 茂 氏  
(掲載:(財)日本体育協会「スポーツジャーナル」)  
「世紀末スポーツと切り結ぶ -報道者の自己批判-」 大野 晃 氏  
(掲載:大修館書店刊「月刊体育科教育」)  
「競走馬の文化史 -優駿になれなかった馬たちへ」 青木 玲 氏(発行:筑摩書房)  
「球児たちの復活」 佐藤 光房 氏(発行:あすなろ社)

●第7回( '96年度)

- 「オリンピック新世紀」企画連載報道 読売新聞社 東京本社運動部取材班  
「断層」叫び」ほか 金子 達仁 氏 掲載:文藝春秋社刊「ナンバー」  
「日韓キックオフ伝説」 大島 裕史 氏(発行:実業之日本社)  
「汚れた金メダル」 松瀬 学 氏(発行:文藝春秋)

●第8回( '97年度)

- 「部活動は今」連載企画報道 埼玉新聞社 運動部部活動取材班  
「夢フロンティア・スポーツ大国の実像」「ユーロスタジアム・欧州スポーツ新時代」  
「キャンパススタジアム」 読売新聞社 東京運動部取材班  
「夢をつなぐー全盲の金メダリスト 河合純一物語」  
澤井 希代治 氏(発行: ひくまの出版)

●第9回( '98年度)

- 「原色のアジア」連載企画報道 読売新聞社 東京運動部  
「志村正順のラジオ・デイズ」 尾嶋 義之 氏(発行: 洋泉社)  
「夢、未だ盡きずー平木信二と吉岡隆徳」 辺見 じゅん 氏(発行: 文藝春秋社)  
「6月の軌跡ー98 フランスW杯日本代表39人全証言」  
増島 みどり 氏(発行: 文藝春秋社)

●第10回( '99年度)

- 「魔術師」 立石 泰則 氏(発行: 文藝春秋)  
「血と知と地」 吉川 良 氏(発行: ミデアム出版)  
「カープ球団創設50年史」企画連載報道  
中国新聞社 運動グループ  
カープ50年取材班